

要領様式第2号

出張報告届

令和2年 7月 20日

吹田市議会議長様

会派名 民主・立憲フォーラム

出張者氏名 西岡 友和



印

印

印

印

印

印

下記のとおり出張したので届け出ます。

記

出張先	豊中市役所		
期間	令和2年 7月15日から	7月15日まで	1日間
出張の成果	別紙のとおり		
備考	豊中市の就労支援事業	認 印	会派代表者
	生活困窮者自立支援の取り組み		



豊中市 行政視察

日時：2020年7月15日 13時～16時30分

場所：豊中市役所

実施内容：

豊中市の就労支援事業

生活困窮者自立支援の取り組み 暮らし支援課 濱政課長

一般社団法人 キャリアブリッジ 代表 白砂 明子

新規相談から トリアージを行い、それぞれの対応、部署に振り分けるよう、ワンストップで対応を行っている。初めは、居場所をつくる。軽作業をつうじて仲間、居場所。その後、市内の事業者へとのつながりを行う。企業見学や体験入社で徐々につながる。

【仕事とつながる With 豊中】10社くらいのエントリーがある。9名昨年内定した。相談には会計年度任用職員 だから移動はない。

若者支援と就労支援はイコールではない。引きこもりの相談はゴールが就労とはかぎらない。ひと人とのつながりであったり、本人が何を望んでいるのかを、明確にすることが重要と思っている。

かつてのモデルは通用しなくなり、現在では青年期から成人期への移行がスムーズにいかない。非正規が4割におよぶ。若者の貧困、社会的孤立のリスクは極めて高まっている。

まちかめアプリ。豊中市の独自のアプリケーション。GPS 機能付きで、写真を送るシステム。市民からの要望（道路の亀裂や、植栽の状況など、街中で気になった個所をカメラで撮影、アプリから直接 GPS データと共に通報できる。市の担当からは依頼者に必ず返信メッセージを送ることで、市民との信頼感を醸成）をダイレクトに反映させることが可能。

豊中市は本市と同じ中核市であり、千里ニュータウンを共有する兄弟のような都市と言える。その分、共通する課題や対策など、本市に置き換えても大変有用な情報を頂けたかと思う。特に、まちかめアプリは、千葉市などでも実績のあるシステムで、安価に導入が可能であり、コストパフォーマンスは極めて高いと言える。導入をためらう課題など何もないといえる。その他、今後も近隣他市の状況などをウォッチすることで、成功事例は導入を、失敗事例は後学とする為、情報収集に励む。

以上